

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ金井		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		～ 2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用する児童一人ひとりに合わせた支援の提供	・児童一人ひとりの発達段階や、生活状況など細かくアセスメントを行う事で一人ひとりの目標や特性にあった支援計画の立案を行っている。また、個別支援計画書に基づいて、それぞれの職員が日々直接支援に従事している。	・会議形態の確立を行い、情報共有・伝達をより正確に行っていく。 ・直接支援に携わる職員へのスキルアップを目的とした研修を積極的に実施、参加していく。
2	専門性を重視したプログラムの実施	・児童発達支援管理責任者や心理担当職員といった専門性に特化した職員によるプログラム立案を行っている。 ・立案したプログラムは教室毎職員で再度見直しを行い、専門性を維持し、児童が楽しむことができる内容とするよう教室毎ミーティングを実施している。	・ミーティングの頻度見直しを行い、高い水準の専門性が担保されたプログラムを提供できるよう努めていく。
3	急な変更や相談等における柔軟な対応	・報告、相談が滞りなくできているため、情報の抜けや漏れを減らす事ができている。	・各種マニュアルの拡張や、職員間での共有の強化を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流機会が少ない	・土日祝日の外出プログラムを通して拠点の外で活動し、近隣の方と触れ合う機会を設けているが、平日利用が主となる児童には十分に参加する機会を確保できていない。	近隣のデイサービスと交流する機会を検討、放課後にも行える地域交流の検討を行う。
2	・恒常的に落ち着いて過ごすための空間を確保する事が難しい	・施設の構成上、上が吹き抜けになっているため隣の部屋の音が聞こえてしまう。 ・部屋数が限られているため、何も無い空間の用意が難しい。	パーティションを利用した簡易個室の検討、遮音を目的としたイヤーマフの購入を検討する。
3	・保護者会など保護者参加イベントが少ない	・日々の支援の様子を見ていただけるようにお声がけは行っており、支援の様子を見ていただく機会は設けているが、児童の特性上必要な配慮を理由に保護者参加イベントの頻度が少なくなっていた。	・夏祭りなど季節ごとのイベントや、水族館・動物園といった親子で楽しめる外出イベントを保護者参観日として一緒に参加していただく機会を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ金井

公表日 2026年3月10日

利用児童数 64

回収数 43

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	1		3	・初回見学以来見ていないためわからない ・整理整頓されていると思う ・広ければ広いほど良いが工夫されている。	・限られたスペースではありますが、整理整頓や環境整備を継続して、子どもたちの活動を最大限支えられる様努力します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30	8		5	・適切と感じる ・きめ細やかな指導をうけていると思う ・もう少し多いと良い ・良く見てくれている、職員の負担が心配。	・基準に沿った人員配置を行っておりま す。職員の急なお休み等でご心配をおか ける事もあるかと思いますが、都度、 勤務変更調整等の必要な措置を講じま す。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	2		5	・視覚支援が充実していると思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	3		3	・環境整備されている(調理時に手袋や マスクを着用している) ・特性に合わせた部屋割になっている と思う ・静かな環境があると良い	・子ども達が過ごす教室の環境整備や衛 生管理には今後も最善の注意を払って いきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	1			・保護者視点と同じくらい理解してくれ ている。 ・苦手だった音楽やダンスも参加できる 事が増え、自信をもって挑戦できるよう になってきた。	・今後もご期待に沿えるよう、各種研修 の受講や、職員会議を通して支援技術の 向上を目指します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	42	1			・細かく設定してくれる	・引き続きご満足いただけるよう努めて 参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	1		1	・そう思う	・引き続きご満足いただけるよう努めて 参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	4		1	・いろいろなプログラムが用意されてい る ・種類が豊富で楽しそうなものが多い ・毎回来しみにしている	・今後も5領域の発達支援を考えて子ど も達が遊びや活動を通して様々な体験が できるような柔軟な対応方法を検討しま す。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18	8	4	13		
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	9	3	8	・あるかもしれないが参加できていな い。 ・参観日の機会があれば良いと思う。 ・実際の様子を見て学ぶ機会があれば良 い。	・児童発達支援管理責任者との相談の機 会を増やす事や、支援の様子を見ていた だけのような柔軟な対応方法を検討しま す。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	43				・送迎時に伝達してもらっている	・引き続きご満足いただけるよう努めて 参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	2			・面談時など相談できる。 ・子育ての助言までは頂いていない。	・面談以外に相談をお受けする機会を 検討していきます。

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	1			・丁寧な対応で特性に合った方法をしてくれる。	・引き続きご満足いただけるよう努めて参ります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	7	9	13	・普段の様子が見たいので参観日や保護者参加型イベントがあると良い（夏祭りなど参加してみたい） ・交流イベントにはまだ参加していない。	・保護者参加型のイベント等、保護者の皆様が日々の支援の様子をご覧になれるようなプログラム実施の検討を行います。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	5			1	・急な連絡等にも柔軟に対応してくれる。 ・職員と話す機会の増加、相談窓口が必要と感じる。	・面談以外に相談をお受けする機会を検討していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	1			1	・連絡などすぐに対応してくれる。 ・折り返し連絡などすぐに対応してくれる。	・引き続きご満足いただけるよう努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	40	1			1	・毎回細かく連絡してくれている。 ・必要な情報は発信してくれている。	・引き続きご満足いただけるよう努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	1			1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	2	1	3	・避難訓練を実施している。	・避難訓練は定期的に行っており、活動記録、イベントカレンダーにて記載させていただいております。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	3			1	・避難訓練をされているのは知っているが、実際の災害時にどう動くべきかを確認したい。	・事業継続計画（BCP）から災害時必要な対応について改めてご説明いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	4	2			・少しの怪我也伝えてもらえている。 ・伝達がある時とない時があった。 ・大きな怪我をした事があり、風化されないように再発防止策を引き続き徹底して行ってほしい。	・ヒヤリはほととの共有を毎日行い、事故防止に努めています。また、再発防止策も含め、これまでのヒヤリハット、事故の共有は継続して行ってまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	42	1			・楽しく喜んで通えている ・自宅と変わらない程安心してきている。 ・安心して任せられる。 ・相談する機会が増え、対応してくれる。	・引き続きご満足いただけるよう努めて参ります。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41	2			・安心してきている。 ・職員やお友達が好き。 ・通所を楽しみにしている。	・引き続きご満足いただけるよう努めて参ります。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	43				・いつも細かく丁寧に要望にも応えてくれている。 ・きめ細やかケアに感謝している。 ・継続して利用したい。	・引き続きご満足いただけるよう努めて参ります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ金井				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18		・日常的に使用しないものは倉庫に仕舞い、必要に応じて取り出せるように倉庫係りを作って管理をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18		・病欠など急な欠員が生じる事があるが、勤務調整や勤務変更で柔軟に対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	4	・管理者と職員との面談を毎月実施し、PDCAサイクルの確認や個人目標の設定を行っている。全体共有の必要なものはミーティングにて周知している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18				
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	18				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	18			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	18			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	18			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	18			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	4	・保育所訪問を9月～3月に実施している。	・事業内容の認知が低く情報共有までに至りにくいため、事業内容を伝えられる様努めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	18			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	18			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	9		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	8	・児童発達支援管理責任者による家庭状況の聞き取りや、家庭で行える支援の提案は面談時に行っている。	・個々によって困っている内容が異なり、複数に向けたペアレントトレーニングの実施はできていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	18			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	7	・保護者が支援の様子を見ていただけるように、いつでも見学に来ていただける案内を行っている。	・プログラムとして保護者参加が可能なイベントが少ないため、今後開催の検討を行う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	1	・サッカー観戦やバスケットボールの試合観戦などに招待するなど積極的に実施している。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	18					